

第5回当別町史編さん委員会 会議概要

日 時：令和元年 12 月 20 日（水） 午後 3 時

出席者：（事務局）一宮総務部長、長谷川総務課長、五東総務係長、藤原主査、村田主事
山崎教育部長、石川社会教育課長、飛山文化財保護係長、下村主任
倉田歴史研究専門員、(株)須田製版担当者

（委 員）竹田委員長、松尾副委員長、白井委員、野口委員、大口委員、曾川委員、
大畑委員

1 開 会 長谷川総務課長

2 挨拶 竹田委員長

3 議 事

(1) 当別町史編さんに係る構成の決定について

事務局より前回の委員会で出た意見の内容について説明し、了承を得た。

町内各地区が形成された歴史については、構成の中に「村の変貌-各集落・自治会の変遷」の項目があるので、今後資料を収集して、史実が判明している部分については、他の項目とのバランスも考慮して掲載する。

開拓 100 年以前の歴史の掲載方法については、今回の町史は開拓 100 年以降の編纂をすることとしているが、時代の流れをしっかりと町史の中で説明することは必要であることから、全体のページ数も考慮しながら、しっかりと当別町の開拓の流れが伝わるよう執筆者に書いていただいたものを委員会の中で確認していくという形をとる。

当別町のアイヌ文化については、今後資料の収集を進め、新たな史実が出てくれば掲載していく。資料があまり出てこなかったとしても、アイヌ文化時代の当別町はどうだったのかという視点で考察していくこととする。

今回の委員会で構成の大枠について、了承を得たので、今後は(株)須田製販から作成する原稿を委員会を確認しながら編纂を進めていくということとする。

委員より以下の質問があった。

(委員)

詳細のページ数については、今後ページ数の動きはあるのか。

また、今の予定では全部で何ページで、その内カラーページは何ページになるのか。

(事務局)

ページ数については、流動的である。

今の予定では 950 ページで、カラーページは 30 ページである。

(委員)

スポーツに関することはどこに入るか。

(事務局)

第3部(4)③社会教育-施設・事業の項目で考えている。

(委員)

この50年間の中では、姉妹都市について積極的に取り組んでいる。姉妹都市提携についてはどこに入ってくるのか。

(事務局)

第3部(2)④国際・国内交流に入る。

(委員)

第3部(3)町民の暮らしには福祉の項目があるが、第3部(2)行政の中には福祉についての項目がない。町民の暮らしの福祉と行政の福祉と違いがあるかと思う。

(事務局)

行政側からみた記述もあり得るし、逆に町民の側からの視点もありますので、(2)行政の中にも記載する。

(委員)

伊達藩の歴史はどこに入るのか。

(事務局)

第2部通史編(4)近代の当別町の中の大きなテーマになるので、ここに記載する。

(委員)

第3部(8)②事件・事故等とあるが、事件とはどういったものか。

(事務局)

今後調べていく中で、大きな事件・事故等が無ければ、事件・事故等は無かったという記述のみになる。

(委員)

町史の中で、町民憲章や、町の鳥のふくろう、町の木の花の白樺、町の花のカスミソウを載せて、町民に知ってもらうことが大事だと考える。

(事務局)

カラーグラビアの中で掲載することを考えている。

(委員)

第3部(6)産業について、林業が入っていない。

(事務局)

第3部(6)①第一次産業に記載する。

(委員)

郵便局についての記載はどこに入るのか。

(事務局)

第3部(5)④上下水道・電気・ガスの項目に記載する。

(委員)

各町内会の記念誌も参考にするのか。

(事務局)

大事な資料として活用する。

次回会議の日程を年度明けの4月以降とし、閉会した。